

チームを勝たせられる 選手になりたい



プロサッカー選手(日本代表) 齋藤 学 さん

ただサッカーが上手になりたかった

サッカーを始めたのは小学校1年生の時。3つ上の兄が地元のサッカー少年団に入っていて、同じチームに入ったのがきっかけでした。小さい頃はただサッカーが上手になりたい、目の前の試合に負けたくない、という気持ちで強くて、プロになりたいとは考えていませんでした。その後、プロのクラブチームの下部組織に入団することができて少しずつ意識するようになり、プロサッカー選手として、今に至っているという感じですね。

ブラジルW杯の悔しさをバネに

2014年に行われたブラジルW杯では、日本代表に選出されたものの、試合に出場することはできませんでした。それがすごく悔しくて、それをきっかけに栄養面やトレーニングなど色んなことを見直して、チャレンジするようになりました。体のキレを作るために、食事の間隔を空けて腸を休ませたり、玄米を食べるようにしたりと、色々なアプローチで体を変化させる取り組みをしていて、その成果が出てきているのではないかと思っています。

サッカーは勇気や感動を与えられる

ドリブルが注目されることが多いですが、ゴールに向かう姿勢や、アタックしていく形とか、そういう部分に注目してもらえたら嬉しいです。昔からクラブチームの先輩に「ドリブルもプレーの選択肢のひとつだぞ」とすごく言われていたので、僕自身もその言葉はずっと意識してプレーしています。

次の2018年のロシアW杯というのは、自分の中でもとても大きな目標です。W杯で日本を勝たせられる選手になりたい。その目標に向かって

成長していきたいし、今の自分の行動も決めていきたいと思っています。個人としては、もつと点を取れる選手になるということを意識しています。チームが勝つことがすべてなので、チームを勝たせられる選手になりたいです。

サッカーは、サポーターやファン、試合を運営する人、会場を作る人、そして審判や選手、というように多くの人がいて成り立っているんだということをとても感じているので、それを忘れずにプレーしたいですね。また、当たり前ですが、サッカーには勝ち負けがあるので、そこに色々な感動やドラマが生まれる。観てくれる人に勇気とか感動とかを与えられるのがサッカーの良さでもあると思うので、自分もそういうことができる選手になりたいです。

Profile ●さいとう・まなぶ

1990年、神奈川県川崎市出身。169cm。ポジションはFW、MF。幼少期よりサッカーを始め、プロサッカーチームの下部組織に所属。2008年にJリーグ公式戦デビュー。鋭いドリブル突破を武器に活躍し、ロンドン五輪代表などを経て、2013年に日本代表(A代表)へ初選出。2014年のブラジルW杯では出場機会が得られなかったが、2016年、約2年ぶりに日本代表に召集された。2018年のロシアW杯への出場を目指す。



写真提供：(株)フォート・キンモト

photograph：小林学